

## 稚内市

令和4年度日本海にぎわい・交流海道ネットワーク  
総会・シンポジウムの開催

令和4年10月6日（木）稚内市のサフィールホテル稚内において、道内では6年ぶりに「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会・シンポジウム」が開催されました。

総会には、北は北海道稚内市から南は島根県浜田市まで、日本海沿岸各地域の会員約50名が参加し、令和3年度の活動及び決算報告、令和4年度の事業計画・予算（案）、役員の改選についての審議を行い承認されました。

総会に引き続き行われたシンポジウムには、会員のほか一般参加募集を行い、合計約80名が参加し、講演会では、コスタクルーズ日本・韓国支社営業本部長の小早川 隆信氏から「世界のクルーズ動向と日本海側港湾の可能性」をテーマとして日本海側港湾の長所を生かしたクルーズの可能性について、株式会社ユーラスエナジーホールディングス国内事業第二部長兼稚内支店長兼札幌支店長の加藤 潤氏から「道北地域の風力発電事業の現状と稚内港の利用状況について」をテーマとして道北地域の風力発電事業における進捗状況等についてご講演いただき、日本海沿岸地域の可能性について考える機会として皆さん興味深く耳を傾けてらっしゃいました。

また、総会・シンポジウム開催に先立ってクルーズ船社との意見交換会が開催され、5つの自治体が参加し、コスタクルーズ日本・韓国支社営業本部長の小早川 隆信氏との間でクルーズ船誘致に関して活発なPR、意見交換が行われました。

総会・シンポジウム開催の翌日には開催地稚内市の各施設の現地見学会が実施され、北海道遺産及び土木学会選奨土木遺産に選定された稚内港北防波堤ドーム、日本最北端の地の碑が立つ宗谷岬、「宗谷丘陵の周氷河地形」として北海道遺産に選定され、最北の風力発電施設がある宗谷丘陵の見学が行われました。

稚内市にお越しいただき、ありがとうございました。来年度は島根県浜田市での開催となります。



講師

コスタクルーズ 日本・韓国営業本部長  
小早川 隆信 氏



講師

株式会社ユーラスエナジーホールディングス国内  
事業第二部長兼稚内支店長兼札幌支店長  
加藤 潤 氏



現地見学会の様子  
(稚内港北防波堤ドーム)

## 稚内港、杵形港に3年ぶりにクルーズ船が寄港

### 【稚内港】

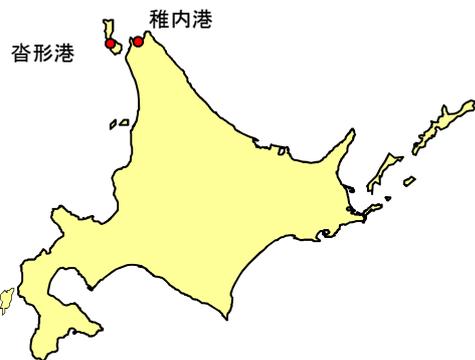
#### ➤ 7月8日 「ぱしふいっくびいなす」が稚内港に寄港

稚内港末広ふ頭にクルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が寄港しました。横浜港を出港し朝6:45に最初の寄港地である稚内港に到着しました。

まだ、朝靄がかかる中、稚内港に入港しましたが、末広ふ頭に着岸する時には、靄もなくなり絶好の観光日和になりました。乗客は、宗谷岬などの市内観光のほか、利尻、礼文、サロベツ原野など道北地域の1日観光を楽しみました。

出港に先立ち、稚内大谷高校による吹奏楽の演奏、南中ソーラン連の演舞、稚内海峡太鼓の演奏が行われ、21:00の出港前には盛大に花火が打ち上げられ、多くの人に見送られ次の寄港地へ向かいました。

今年度の稚内港への寄港はこの1隻で終わりましたが、次年度以降、また多くのクルーズ船が寄港することを期待しています。



稚内港に寄港した「ぱしふいっくびいなす」



### 【杵形港】

#### ➤ 8月26日～9月4日 「にっぽん丸」が杵形港に4回寄港

杵形港にクルーズ船「にっぽん丸」が4回寄港し、乗客約1,250人が利尻島に訪れました。

新型コロナウイルス感染症対策として、例年寄港時に行われていた島民参加のお出迎えや岸壁上でのテント出店はありませんでしたが、利尻町役場職員や利尻町マスコットキャラ



日本百名山 利尻山(利尻富士)をバックに「にっぽん丸」

クター「りしりん」がクルーズ船をお出迎えしました。

乗客は、観光バスツアー等で「仙法志御崎公園」や「オタトマリ沼」などの利尻島有数の観光スポットを満喫し、利尻町役場職員、「りしりん」に見送られて次の寄港地へ向かいました。

次年度以降もまた多くのクルーズ船が寄港し、島全体ににぎわいが戻ってくることを期待しています。



「りしりん」  
・利尻町特産「利尻コンブ」をモチーフ  
・頭には町花「エソカンソウ」  
・背中には「エソパフンウニ」と  
「キタムラサキウニ」  
・身長・利尻昆布(3等)2枚分  
・体重・ウニ200個分

## 奥尻町

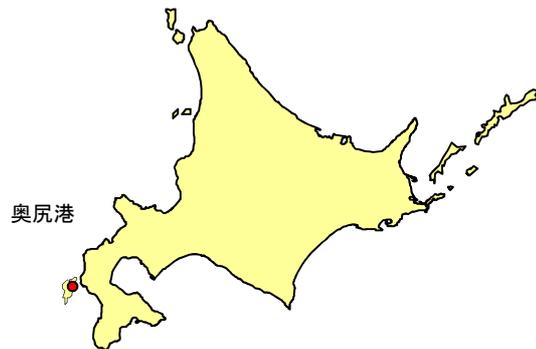
### 宿泊&体験プログラムの参加で帰りのフェリー 無料キャンペーン！

#### 【奥尻港】

奥尻町では、町内各所で実施している各種体験プログラムに参加し、対象となる宿泊施設を利用すると、帰りのフェリー運賃が無料となるキャンペーンが実施されています。

体験プログラムのうちメモリアルフレーム作り体験をされた方からは、「初体験の自分でもうまくなりました。旅の思い出にもなるし、お店の方を通じて島のすばらしさを知ることができました。」などの意見がありました。また、虹色サンゴ加工体験では、「初めての体験であり自分で作る思い出ができました。ガイドさんの優しさがうれしかった。」などの意見がありました。

今後、コロナ禍で落ち込んでいた観光が上向き、奥尻島が活気づいていくことを願います。



ようこそ! 奥尻島 2022  
下半期版 体験プログラム参加で  
1,000名限定! 帰りのフェリー運賃無料キャンペーン!  
2022.4.29(土)~2023.1.31(土)開催分まで  
参加条件  
✓ 片道フェリーチケットを購入し奥尻島へ乗船される方  
✓ 奥尻島内1泊以上宿泊  
✓ 奥尻島内で体験プログラムに1つ以上の申込み・体験をする  
遊んで当てる  
奥尻島の特産品をプレゼント!  
体験プログラムに参加の方へ、抽選で特産品をプレゼントいたします。  
新型コロナウイルス対策として予約、消毒、三密回避、新しい生活様式・新北海道スタイルの遵守をお願いいたします。  
新型コロナウイルス対策として予約、消毒、三密回避、新しい生活様式・新北海道スタイルの遵守をお願いいたします。  
TEL 01397-2-3404  
HP welcome-ck.com  
TEL 01397-2-3456

奥尻町のキャンペーン

## 事務局からのお知らせ

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク令和4年度総会にご参加頂いた皆様ありがとうございました。

コロナ禍により現地開催が出来ておらず3年ぶりの総会開催となりましたが、総会～シンポジウム～交流会と多数の会員にご参加頂き、盛況に開催することが出来ました。翌日の現地見学会も天候に恵まれ、日本最北端の地である宗谷岬をはじめ、サハリンや雲ひとつない利尻富士、さらにはキタキツネまで見る事が出来、皆様の稚内での良い思い出となれば幸いです。

開催にあたりご協力頂きました稚内市ならびに北海道開発局の方々には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、総会でご承認頂きましたが、次回令和5年度総会については、「**島根県浜田市**」で開催することとなりました。

総会内容や開催時期については、詳細が決まり次第ご連絡させて頂きませんが、浜田市での総会にも多数の会員皆様にご出席頂けるよう準備していきますので、引き続きよろしくお願いたします。

令和6年度以降の総会開催地については**会員の皆様からの立候補を募集**しております。

総会開催に伴う各種調整や手続きはございますが、①**会員首長を含む50～80名の会員が宿泊を伴う2日間滞在し、②会場費用など開催にかかる費用はネットワーク予算から支出するため、開催地の費用負担は原則ございません。③開催地としてのPRや交流会を通じた他会員とのパイプ作り**など様々なメリットもございます。

会員相互の理解促進や連携強化のためにも、我が市町で開催したい（詳細を教えてください）という会員がいましたら、事務局までご連絡頂きますようお願いいたします。

今後とも日本海にぎわい・交流海道ネットワークにご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。